

鞍ヶ池公園

鞍ヶ池公園は豊田市にある広大な公園で、家族で楽しめるさまざまなアウトドアアクティビティが用意されています。一帯を一望できるため、街の観光を始めるには理想的な場所です。

東海環状自動車道の休憩所である鞍ヶ池パーキングエリアからは、公園を見下ろせます。車椅子でも利用できるパーキングエリアの展望台からは、周辺の2つの高い山、豊田の猿投山と松平地区の六所山が見えます。豊田スタジアムも見え、晴れた日には名古屋方面まで見渡すことができます。展望台は、星空観察や夜の花火鑑賞にも最適です。

園内にはレストランや、アウトドアウェアブランド「スノーピーク」のショップがあります。さらに坂を下った公園の中心部には、東京の国立競技場やフランスの文化センター「FRAC マルセイユ」などを手がけた建築家、隈研吾（1954年生まれ）が設計した5棟の長方形の移動式バンガローがあります。隈がスノーピークとのコラボレーションで制作したこの「住箱」（じゅうばこ＝住むための箱）は、公園内のグランピング宿泊施設として借りることができます。また、近くには通常のキャンプ場もあり、スノーピークのショップでテントやキャンプ用品をレンタルすることもできます。

この公園の名前の由来である鞍ヶ池は、公園のほぼ中央に位置しています。池には鯉や水鳥が生息しており、手漕ぎボートなどもあります。他にも、無料の動物園や、名古屋鉄道（通称：名鉄）の古い電車が復元されて公園内に設置されています。また、子供用のプレイエリアや植物園もあります。公園のすぐそばには、トヨタ自動車株式会社の創業期の歴史を紹介する、博物館「トヨタ鞍ヶ池記念館」があります。この公園はピクニックに最適なスポットで、特に春には桜が満開になり、多くの人を訪れます。

この公園へは、車なら名古屋方面から高速道路を使って、豊田市駅からはバスで行くことができます。園内には900台の車が収容できる、無料駐車場もあります。